

やさしいヘビの見分け方

毒あり

ニホンマムシ



- 大きさは 40~60 cm(あまり大きくない)
- 体の横に丸い模様がある
- 山、農村地域やその近辺、都市近郊でも、池や川のそばの草むらでみられる
- 気温によって**昼も夜も活動する**

毒あり

ヤマカガシ



- 大きさは 70~150 cm
- 体の模様は**赤と黒色**(関東・東北) 模様には地域で差がある
- たたくと**首からも毒**を出す
- カエルが好きで、水田、池、川でよくみられる
- 主に昼間に活動
[木に登るのは目づらしいらしい]

毒なし

シマヘビ



画像: グッドぐんま2

- 大きさは 80~150 **cm**
- **目は赤い**
- 体に4本のシマがある
- 水田でよくみられる
- 気が荒い
- 主に昼間に活動

アオダイショ

毒なし



子ヘビ

- 大きさは 100~200 cm(大型)
- 目は丸くてかわいい
- 体の模様は親子で違う。子ヘビをマムシと間違っている地域もある
- 木登りが得意で、木や屋根にのぼる
- 人家の近くでもよくみられる
- 主に昼間に活動

へびを見かけたら

へびを見分けるのは、とっても難しい。

へびは同じ種類でも、いろや柄の変化が多いから。

へびを見かけたら、近づかないようにしよう。

へびは臆病な生き物です。

へびが人を見かけたら、隠れたり、逃げたり、色々な方法で身を守ります。

それでも追いかけられたりしたら、口を開けたり、音を出して威嚇します。

それでも、さらにダメな場合は嘔みつきます。

へびがかみつくのは、最終手段なのです。

へびを見かけたら、そのままほうっておきましょう。

へびは勝手に逃げていきます。

+

